

本審査基準は重要な形質を定める最新の告示を反映しておりません。

出願等にあたっては、最新の重要な形質をご確認ください。(以下 HP の植物区分ごとの特性表参照。

→https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hinshu/info/sinsa_kijun_jp.html)

なお、それぞれの重要な形質に対する定義等は変更されております。

1. 審査すべき重要形質ならびに参考形質

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
樹	①	樹 姿	樹全体の形状	樹高と樹幅との比率の大小、枝の分枝角度から判定する。
	②	樹の大きさ	成木時の樹の大きさ	樹高と樹冠容積から大小を判定する。
	③	樹 勢	枝の伸長力の強さ	新しょうの伸長程度、太さなどから強弱を判定する。
枝	④	枝しょうの粗密	枝の発生数の多少	樹全体の新しょう数から判定する。
	⑤	枝しょうの長さ	一年枝の長さ	新しょう10本を測定し、その平均値。
	⑥	枝しょうの太さ	一年枝の太さ	同上の枝しょう。基部から第5～6節間の直径をノギスで測定し、その平均値。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
直 中 開	立 間 張	3 5 7	蓬萊柿 ネグロ・ラルゴ 樹井ドーフィン
	小 中 大	3 5 7	ブラウン・ターキー アーテナ 蓬萊柿
	弱 中 強	3 5 7	ブラウン・ターキー 樹井ドーフィン 蓬萊柿
粗 中 密		3 5 7	蓬萊柿 樹井ドーフィン ホワイト・ゼノア
	極 短	1 3 5 7 9	(60cm以下) (60.1～100cm) (100.1～140cm) (140.1～180cm) (180.1cm以上)
	短 中 長 極 長	1 3 5 7 9	ブラウン・ターキー ネグロ・ラルゴ 樹井ドーフィン ブルンスウィック 蓬萊柿
極 細 中 太	細	1 3 5 7 9	(8.0mm以下) (8.1～12.0mm) (12.1～16.0mm) (16.1～20.0mm) (20.1mm以上)
	細 中 太	1 3 5 7 9	ブラウン・ターキー 樹井ドーフィン ホワイト・ゼノア 蓬萊柿
	極 太	1 3 5 7 9	(8.0mm以下) (8.1～12.0mm) (12.1～16.0mm) (16.1～20.0mm) (20.1mm以上)

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
枝	⑦	節 間 長	一年枝の節と節の距離	同上の枝しょう。枝長／節数 (芽数)の数値で判定する。
	⑧	枝しょうの色	一年枝表面の色	同上の枝しょう。 マンセル標準色票を使用する。
	⑨	皮目の形	一年枝皮目の形	同上の枝しょうを観察する。
	⑩	皮目の大きさ	一年枝皮目の大きさ	同上枝しょうを観察する。
	⑪	皮目の多少	一年枝皮目の多少	同上枝しょうを観察する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
極 短	1	(3.5 cm以下)	ブラウン・ターキー ホワイト・ゼノア 榊井ドーフィン 蓬萊柿
短	3	(3.6～4.0 cm)	
中	5	(4.1～4.5 cm)	
長	7	(4.6～5.0 cm)	
極 長	9	(5.1 cm以上)	
淡 灰 褐	1		セレスト ホワイト・ゼノア 榊井ドーフィン ロイアル・ビンヤード 蓬萊柿
灰 緑	2		
灰 緑 褐	3		
灰 褐	4		
褐	5		
濃 褐	6		
筋 状	1		蓬萊柿, ホワイト・ゼノア 榊井ドーフィン, セレスト
筋状または長楕円	2		
長 楕 円	3		
長楕円または楕円	4		
楕 円	5		
楕円または円	6		
円	7		
小	3		カドタ, ブルンスウィック ホワイト・ゼノア, ブラウン・ターキー 蓬萊柿
中	5		
大	7		
少	3		セレスト ホワイト・ゼノア, ブルンスウィック ブルジャソット・グリーズ
中	5		
多	7		

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
枝	12	皮目の鮮明度	一年枝皮目の目立つ程度	同上枝しょうを観察する。
	13	分 枝 数	一年枝から出る副しょうの数	樹全体の副しょうの発生量から判定する。
芽	14	頂芽の形状	横から見た頂芽の形	No.5 のサンプルを観察する。
	15	頂芽の色	頂芽表面の色	No.5 のサンプルを観察する。 マンセル標準色票を使用する。
幼 葉	16	幼葉の色	幼葉表面の色	展葉 3～4 枚時に観察する。 マンセル標準色票を使用する。
	17	幼葉主脈の色	主脈の色	同上のサンプルを観察する。 マンセル標準色票を使用する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
不 明 瞭 中 明 瞭	3 5 7		セレスト 樹井ドーフィン ホワイト・ゼノア
無 少 中 多 甚 多	1 3 5 7 9		アーテナ セレスト ホワイト・イスキア
長 三 角 三 角 短 三 角	3 5 7		カドタ、ホワイト・イスキア セレスト、ブルンスウィック アーテナ
黄 緑 淡 黄 褐 黄 褐 赤 褐 濃 赤 褐	1 2 3 4 5		蓬萊柿 ホワイト・ゼノア 樹井ドーフィン カリフォルニア・ブラック
淡 緑 緑 濃 緑	3 5 7		ブルンスウィック 樹井ドーフィン アーテナ
淡 黄 緑 淡 緑 緑	3 5 7		セレスト 樹井ドーフィン ホワイト・イスキア

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
成	⑮	葉 形 ⊕	成葉の全体の形	当年枝の中央部の葉で観察する。
	19	裂 片 数	葉身の周囲の裂刻の有無と裂片の数	同上のサンプルの葉を観察する。
	20	裂片の数の変化	裂片数が異なる葉の有無	当年枝の第5節から上位の葉で観察する。
	21	裂片の切れ込みの深さ ⊕	上裂刻の葉縁からの切れ込みの深さ	上裂片と第1側片の接線から上裂刻底部までの距離が、接線から葉脈基点までの距離に占める割合。(10葉の平均)
葉	22	裂片の形 ⊕	葉の中央の裂片の形	No.18のサンプルの葉を観察する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
円 形 円 心 形 心 形 卵 形 広 卵 形	1 2 3 4 5		樹井ドーフィン, ホワイト・ゼノア サン・ペドロ・ブラック ブラウン・ターキー, セレスト ブルジャソット・グリース カドタ, 蓬萊柿, ネグローネ ネグローネ カリフォルニア・ブラック, ホワイト・イスキア
無 無 ~ 3 裂 3 裂 3 ~ 5 裂 5 裂 5 ~ 7 裂 7 裂	1 2 3 4 5 6 7		蓬萊柿 ホワイト・イスキア 樹井ドーフィン, ホワイト・ゼノア
無 有	1 9		樹井ドーフィン, ホワイト・ゼノア 蓬萊柿, セレスト
浅 中 深 極めて深い	3 5 7 9	(0.30以下) (0.31~0.50) (0.51~0.70) (0.71以上)	カドタ, ホワイト・イスキア 樹井ドーフィン, ホワイト・ゼノア ブルンスウィック, アーテナ スタンフォード・スミルナ
ひ し 形 広 へ ら 形 広 長 へ ら 形 狭 長 へ ら 形 楕 円 形 長 楕 円 形 く さ び 形	1 2 3 4 5 6 7		セレスト ネグロ・ラルゴ 樹井ドーフィン ブルンスウィック ホワイト・ゼノア 谷川 蓬萊柿

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
成	23	裂片縁部の重なり	上裂片と中裂片の開き具合と重なり具合	No. 18のサンプルの葉を観察する。
	24	葉の二次欠刻	二次欠刻の有無と程度	No. 18のサンプルの葉を観察する。
	25	葉の欠刻底部の突起	欠刻底部の突起の有無多少	No. 18のサンプルの葉を観察する。
葉	26	上裂片葉縁の形 ⊕	葉縁の形	No. 18のサンプルの葉を観察する。
	27	葉の先端の形 ⊕	葉身先端部分のとり具合	No. 18のサンプルの葉を観察する。
	28	葉の基部の形 ⊕	葉身の葉柄に接する部分の形	No. 18のサンプルの葉を観察する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
開 混 重	く ざ る な る 3 5 7		蓬萊柿, 榊井ドーフィン ブルジャソット・グリース セレスト, ホワイト・イスキア
無 浅 中 深	1 3 5 7		蓬萊柿, ブラウン・ターキー 榊井ドーフィン, セレスト ホワイト・ゼノア, カリフォルニア・ブラック
無 僅 中 多	1 3 5 7		蓬萊柿, カドタ 榊井ドーフィン, ホワイト・ゼノア セレスト, サン・ペドロ・ブラック
波 さ 円 鋸 波 鋸 状 状 状 状	1 2 3 4		榊井ドーフィン 蓬萊柿 カドタ セレスト
鈍 鋭 鋭 頭 頭 尖 頭	1 2 3		ホワイト・ゼノア, ホワイト・イスキア 榊井ドーフィン, セレスト 蓬萊柿, ブルンスウィック
下 の 切 心 や 閉 び 形 形 臓 形 じ り 形 鎖 形	1 2 3 4 5		ホワイト・イスキア 蓬萊柿 ブラウン・ターキー, カドタ 榊井ドーフィン

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
成 葉	㊸	葉の大きさ	成葉・葉身の大きさ	No.18のサンプルの葉を観察する。
	30	葉の長さ ⊕	成葉・葉身長	当年枝の中央部の成葉10葉を測定し、その平均値。
	31	葉 の 幅	成葉・葉身の最大幅	同上の成葉を測定し、その平均値。
	32	葉 の 色	成葉・表面の色	No.18のサンプルの葉を観察する。
	33	表面の毛の多少	成葉表面の毛の多少	No.18のサンプルの葉を観察する。
	㊹	裏面の毛の多少	成葉裏面の毛の多少	No.18のサンプルの葉を観察する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
極 小 かなり小 小 やや小 やや中 やや大 かなり大 極 大	1 2 3 4 5 6 7 8 9		ブラウン・ターキー、ホワイト・イスキア ブルンスウィック、アーテナ 樹井ドーフィン、ホワイト・ゼノア セレスト ネグロ・ラルゴ
短 中 長 極 長	3 5 7 9	(19.0cm以下) (19.1~23.0cm) (23.1~27.0cm) (27.1cm以上)	ブラウン・ターキー 樹井ドーフィン、ホワイト・ゼノア 蓬萊柿、セレスト ネグロ・ラルゴ
狭 中 広 極 広	3 5 7 9	(19.0cm以下) (19.1~22.0cm) (22.1~25.0cm) (25.1cm以上)	ブラウン・ターキー、ホワイト・イスキア 樹井ドーフィン、ホワイト・ゼノア ネグロ・ラルゴ セレスト
淡 中 濃	3 5 7		樹井ドーフィン、ホワイト・ゼノア カドタ、ホワイト・イスキア
少 中 多	3 5 7		ホワイト・イスキア カドタ 樹井ドーフィン、ホワイト・ゼノア
少 中 多	3 5 7		ブルンスウィック ホワイト・ゼノア、ネグローネ 樹井ドーフィン、蓬萊柿

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
成 葉	③⑤	葉柄の長さ ⊕	成葉・葉柄の長さ	No.18の成葉を測定し、その 平均値。
	③⑥	葉柄の太さ	成葉・葉柄の中央部の直径	No.18の成葉を測定し、その 平均値。
	37	葉柄の色	成葉・葉柄の色（上面）	No.18のサンプルの葉を観察 する。
果 実 の 外 観	③⑧	果 形 ⊕	果実の側面からみた形状	代表的な果実を選び果形分類 図にしたがって表示する。 夏果専用種→夏果を観察 夏・秋兼用種→秋果を観察 秋果専用種
	③⑨	果実の大きさ	果実1個当りの重量	代表的な20果実の重量を測 定し、1果平均重で分類する。 夏果専用種→夏果を観察 夏・秋兼用種→秋果を観察 秋果専用種
	40	果実くび部の形 ⊕	側面からみたくび部の形	No.38のサンプルの果実を観 察する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
極 短 短 中 長 極 長	1 3 5 7 9	(6.0cm以下) (6.1～9.0cm) (9.1～12.0cm) (12.1～15.0cm) (15.1cm以上)	蓬萊柿, カドタ ホワイト・ゼノア, ホワイト・イスキア 樹井ドーフィン, セレスト
細 中 太	3 5 7	(5.0mm以下) (5.1～6.0mm) (6.1mm以上)	ブラウン・ターキー, ホワイト・イスキア 樹井ドーフィン, 蓬萊柿 ブルジャソット・グリース
黄 緑 淡 緑	3 5		ホワイト・ゼノア 樹井ドーフィン, 蓬萊柿
偏 円 円 卵 長 卵 偏した長卵	1 2 3 4 5		ビオレー・ドーフィン ホワイト・イスキア, 蓬萊柿 カドタ 樹井ドーフィン, ホワイト・ゼノア ロイヤル・ピンヤード
極 小 小 中 大 極 大	1 3 5 7 9	(15g以下) (16～40g) (41～75g) (76～110g) (111g以上)	セレスト, ネグローネ ブラウン・ターキー, 蓬萊柿 樹井ドーフィン, サン・ペドロ・ブラック
円 形 鈍 形 漸 先 形 長い漸先形	1 2 3 4		蓬萊柿, ブラウン・ターキー ホワイト・ゼノア 樹井ドーフィン ロイヤル・ピンヤード

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
果 実 の 外 観	41	果実くび部の長さ	くび部の長さ	No.38のサンプルの果実を観察する。
	④②	果梗の長さ	果実果梗の長さ	No.38の果実の果梗を測定しその平均値。
	43	果梗の太さ	果実・果梗の太さ	No.38のサンプルの果実の果梗を測定し、その平均値。
	44	果梗の色	果実・果梗の色	No.38のサンプルの果実を観察する。 マンセル標準色票を使用する。
観	④⑤	果皮の色	果実陽光面の色	No.38のサンプルの果実を観察する。 マンセル標準色票を使用する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
極 短 短 中 長 極 長	1 3 5 7 9		ブラウン・ターキー 蓬萊柿 榊井ドーフィン ホワイ・イスキア ロイアル・ビンヤード
極 短 短 中 長 極 長	1 3 5 7 9	(3.0mm以下) (3.1～7.0mm) (7.1～11.0mm) (11.1～15.0mm) (15.1mm以上)	サン・ペドロ・ブラック 榊井ドーフィン、ホワイ・ゼノア 蓬萊柿、ブラウン・ターキー セレスト
細 中 太	3 5 7	(5.0mm以下) (5.1～7.0mm) (7.1mm以上)	セレスト 榊井ドーフィン、蓬萊柿 ブルンスウィック
淡 淡 淡 淡	黄 黄 黄 黄	1 2 3 4	アーテナ セレスト 榊井ドーフィン、蓬萊柿 カリフォルニア・ブラック
淡 黄 黄 橙 橙 赤 赤 紫 紫	緑 緑 緑 黄 褐 褐 紫 褐 黒	1 2 3 4 5 6 7 8 9	アーテナ ホワイ・ゼノア、カドタ ブルンスウィック ブルンスウィック ブラウン・ターキー 榊井ドーフィン 蓬萊柿、セレスト セレスト、ブラウン・ターキー ネグロ・ラルゴ、カリフォルニア・ブラック

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
果 実 の 外 観	④⑥	果粉の多少	果実表面の果粉の多少	No. 38のサンプルの果実を観察する。
	④⑦	果脈の鮮明度	果実果脈（条線）の発現程度	No. 38のサンプルの果実を観察する。
	④⑧	果脈の密度	果実果脈（条線）の多少	No. 38のサンプルの果実を観察する。
	49	果点コルクの鮮明度	果実表面の果点コルクの発現程度	No. 38のサンプルの果実を観察する。
	50	果点コルクの密度	果実表面の果点コルクの多少	No. 38のサンプルの果実を観察する。
	51	果点コルクの大きさ	果実表面の果点コルクの大きさ	No. 38のサンプルの果実を観察する。
	⑤②	果頂部の目の大きさ ⊕	果実果頂部の目の大きさ	No. 38の果実の目の大きさを測定し、その平均値。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
少 中 多	3 5 7		ホワイト・ゼノア, カドタ 樹井ドーフィン, ブラウン・ターキー 蓬萊柿, セレスト
不 明 瞭 中 明 瞭	3 5 7		ホワイト・ゼノア, カドタ 樹井ドーフィン, 蓬萊柿
粗 中 密	3 5 7		蓬萊柿 ホワイト・ゼノア, カドタ 樹井ドーフィン, ホワイト・イスキア
不 明 瞭 中 明 瞭	3 5 7		谷川 樹井ドーフィン, ホワイト・ゼノア 蓬萊柿, ブラウン・ターキー
粗 中 密	3 5 7		ホワイト・ゼノア, ブルンスウィック 蓬萊柿, セレスト カリフォルニア・ブラック
小 中 大	3 5 7		ホワイト・ゼノア, セレスト 樹井ドーフィン, 蓬萊柿 ブルンスウィック
小 中 大	3 5 7	(6.0 mm以下) (6.1 ~ 8.0 mm) (8.1 mm以上)	セレスト, ネグロ・ラルゴ ホワイト・ゼノア, カドタ 樹井ドーフィン, 蓬萊柿

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
果 実 の 外 観	53	果頂部の目の色	果実・果頂部の目の色	No.38のサンプルの果実を観察する。 マンセル標準色票を使用する。
	54	りん片の大きさ ⊕	りん片の大きさ	No.38の果実のりん片の大きさを測定し、その平均値。
	55	りん片の開閉	果頂部目の開孔の状態	No.38のサンプルの果実を観察する。
	56	りん片の色	りん片の色	No.38のサンプルの果実を観察する。 マンセル標準色票を使用する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
淡 黄 白 淡 桃 桃 紫 赤 紫 暗 赤 紫	1 2 3 4 5 6 7 8		カドタ ホワイト・ゼノア ブルンスウィック ホワイト・イスキア 蓬萊柿 樹井ドーフィン ネグロ・ラルゴ カリフォルニア・ブラック
極 小 小 中 中 大 大 極	1 3 5 7 9	(1.0mm以下) (1.1～1.5mm) (1.6～2.0mm) (2.1～2.5mm) (2.6mm以上)	セレスト 樹井ドーフィン, ホワイト・ゼノア ブルンスウィック ホワイト・イスキア
閉 閉 ～ 開 開	3 5 7		ネグロ・ラルゴ 蓬萊柿 樹井ドーフィン, ホワイト・ゼノア
淡 黄 白 淡 黄 緑 淡 桃 桃 紫 濃 桃 紫 赤 紫 暗 赤 紫	1 2 3 4 5 6 7 8 9		アーテナ カドタ ホワイト・ゼノア ブルンスウィック ホワイト・イスキア 蓬萊柿 樹井ドーフィン ネグロ・ラルゴ ネグロ・ローネ

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
果 実 の 外 観	57	りん片の凹凸	りん片の凹凸	No. 38のサンプルの果実を観察する。
果 実 の 品 質	58	果皮の厚さ	果皮の厚さ	代表的な適熟果実を選び観察する。
	59	果皮の強さ	果皮の強さ	同上のサンプルの果実を観察する。
	60	肉 質 (1)花托の色	花托の色	代表的な適熟果実を選び、果実赤道部を観察する。 マンセル標準色票を使用する。
		(2)花托の厚さ	花托の厚さ	同上のサンプルの果実赤道部を観察する。
		※(3)雌花の色	小花梗の色	同上のサンプルの果実を観察する。 マンセル標準色票を使用する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
凹 平 凸	3 5 7		樹井ドーフィン、ホワイト・ゼノア 蓬萊柿、セレスト ホワイト・イスキア、ブラウン・ターキー
薄 中 厚	3 5 7		セレスト、樹井ドーフィン ホワイト・イスキア 蓬萊柿、ブルンスウィック
弱 中 強	3 5 7		ホワイト・ゼノア、セレスト ネグローネ、ホワイト・イスキア 蓬萊柿、樹井ドーフィン
乳 白 灰 白 淡 黄 淡 桃 淡 桃	1 2 3 4 5		カドタ セレスト ホワイト・ゼノア ネグローネ 蓬萊柿
薄 中 厚	3 5 7		ホワイト・イスキア、セレスト 蓬萊柿、ホワイト・ゼノア 樹井ドーフィン、ブルンスウィック
淡 黄 褐 淡 桃 淡 紫 淡 紫 紅 橙 紅 濃 紅 紅	1 2 3 4 5 6 7		アーテナ ホワイト・イスキア ネグロ・ラルゴ 樹井ドーフィン ブラウン・ターキー 蓬萊柿、ホワイト・ゼノア ブルジャソット・グリーズ

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
果 実 の 品 質	⑥	※(4)果実内部のすきま	果実中心部のすきまの大小	同上のサンプルの果実を観察する。
		(5)雌花の厚さ	雌花の厚さ	同上のサンプルの果実赤道部を測定し、その平均値。
		※(6)果肉の密度	果肉の粗密	同上のサンプルの果実を試食して判定する。
		※(7)果肉の硬度	果肉の硬度	同上のサンプルの果実を試食して判定する。
	⑦	(8)果汁の量	果実の果汁量の多少	同上のサンプルの果実を試食して判定する。
		甘 味	果汁の糖含量	適熟果実の果汁を屈折計を使用して糖度を測定する。
		酸 味	食味時の酸味	同上のサンプルの果汁を、pH試験紙により酸の多少を判定する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
小 中 大	3 5 7		ホワイト・イスキア、カドタ 蓬萊柿、ブラウン・ターキー 樹井ドーフィン、ホワイト・ゼノア
薄 中 厚	3 5 7	(5.0 mm以下) (5.1 ~ 12.0 mm) (12.1 mm以上)	セレスト ホワイト・ゼノア、カドタ 樹井ドーフィン、蓬萊柿
粗 中 密	3 5 7		ロイアル・ビンヤード 樹井ドーフィン、ブルジャソット・グリーズ ホワイト・イスキア、カドタ
軟 中 硬	3 5 7		ホワイト・ゼノア、蓬萊柿 樹井ドーフィン ブルンスウィック
少 中 多	3 5 7		ロイアル・ビンヤード 樹井ドーフィン、カドタ アーテナ
低 中 高	3 5 7	(15.0 度以下) (15.1 ~ 18.0 度) (18.1 度以上)	樹井ドーフィン 蓬萊柿、ホワイト・ゼノア ブルジャソット・グリーズ、ネグロ・ラルゴ
無 少 中 多	1 3 5 7	(5.2 以上) (5.1 ~ 4.2) (4.2 以下)	樹井ドーフィン、サン・ペドロ・ブラック ホワイト・ゼノア、ブラウン・ターキー 蓬萊柿、ブルジャソット・グリーズ

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
果 実 の 品 質	63	香 気	食味時の香り	同上のサンプルの果実を試食して、イチジク特有の香気の多少から判定する。
	64	熟度の斉否	果実の部位間に熟度の相異があるか否かの別	同上のサンプルの果実を試食して判定する。
生 態	65	発 芽 期	芽のりん片がゆるみ内部の緑色部が見えはじめたとき	20～30%の芽が発芽したときについて観察する。 (月 日)
	66	結 果 性 ※(1)着果性	夏果(第1期果)、秋果(第2期果)の着果性	無せん定樹で、夏果(第1期果)と秋果(第2期果)の着果有無について観察する。
		(2)結果樹令到達の早晩	さし木後着果までの早晩	樹令と果実の着果状況で判定する。
		※(3)着果数 (着果数の多少)	新梢上の着果数	新梢上の着果状態から判定する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
無 少 中 多	1 3 5 7		蓬萊柿 ネグロ・ラルゴ, ロイヤル・ビンヤード 樹井ドーフィン, ホワイト・ゼノア ビオレー・ドーフィン
不 中 中 齊	齊 間 3 5 7		ブルンスウィック 樹井ドーフィン, 蓬萊柿 ホワイト・ゼノア, セレスト
早 中 晩	3 5 7		バルマタ 樹井ドーフィン ブルジャソット・グリーズ
夏 果 夏 果・秋 果 秋 果	3 5 7		ビオレー・ドーフィン 樹井ドーフィン セレスト
早 中 晩	3 5 7		樹井ドーフィン アーテナ 蓬萊柿
極 少 少 中 多 極 多	1 3 5 7 9		ホワイト・ゼノア 蓬萊柿 樹井ドーフィン ホワイト・イスキア

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
生 態	⑥⑥	※(4)収 量	収量の多少	記録
	⑥⑦	果実収穫時期 ※(1)夏 果	品種の特性を示す果実が多く 収穫できる時期	時期別に収穫個数を調査し、 多く収穫できた時期を観察する。 (月 日～ 月 日)
		※(2)秋 果	(同 上)	(同 上)
	⑥⑧	裂 果 性	成熟期の裂果	採収した果実を観察する。
	⑥⑨	果実の日持ち (秋 果)	果実の商品性を維持できる程 度	総合的に判定する。
	⑦⑩	耐 寒 性	寒さによる枯死枝 枯死樹の程度	ほ場での観察結果で判定する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
極 少 少 中 多 極 多	1 3 5 7 9		セレスト カドタ アーテナ 蓬萊柿 樹井ドーフィン
早 中 晩	3 5 7	(6月下旬収穫始め) (7月上旬収穫始め) (7月中旬収穫始め)	ビオレー・ドーフィン、ブラウン・ターキー 樹井ドーフィン、サン・ペドロ・ブラック カドタ、ブルンスワック
早 中 晩	3 5 7	(8月上旬収穫始め) (8月中～下旬収穫始め) (9月上旬収穫始め)	セレスト 樹井ドーフィン 蓬萊柿
無 少 中 多	1 3 5 7		セレスト、ネグローネ 樹井ドーフィン、ホワイト・ゼノア ブラウン・ターキー 蓬萊柿
不 良 中 良	3 5 7		ホワイト・ゼノア 樹井ドーフィン 蓬萊柿
弱 中 強	3 5 7		樹井ドーフィン、サン・ペドロ・ブラック ホワイト・ゼノア 蓬萊柿

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
病 害	⑦	病害抵抗性 ※(1)疫 病	病害の発生、被害の大きさ	観察によって判定する。
		(2)炭そ病	(同 上)	(同 上)
		(3)さび病	(同 上)	(同 上)
		(4)胴枯病	(同 上)	(同 上)
虫 害	⑧	虫害抵抗性 ※(1)カミキリムシ類	虫害の程度、被害の大きさ	観察によって判定する。
		※(2)センチュウ類	(同 上)	(同 上)
		(3)ハダニ	(同 上)	(同 上)

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
弱 中 強	3 5 7		榎井ドーフィン
弱 中 強	3 5 7		
弱 中 強	3 5 7		
弱 中 強	3 5 7		
弱 中 強	3 5 7		
弱 中 強	3 5 7		
弱 中 強	3 5 7		

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
虫 害	72	(4)スリップス	虫害の程度、被害の大きさ	観察によって判定する。
台 木 (台木用品種のみ追加して調査する)	73	接木の難易	接木の活着の良否と穂木品種との親和力	接木後の活着率ならびに生育状況により判定する。
	74	実生台木のそろい	実生苗の生育のそろい	実生台木の生育状況を観察する。
	75	栄養繁殖の難易	さし木、取木の難易	さし木、取木の活着率とそれによって得た苗の生育状況により判定する。
	76	接木後の樹勢	接木後の穂部品種の枝の伸長力の強さ	新しゅうの伸長程度、太さ等を観察し、強弱を判定する。
	77	台木の根の発育	台木の根の多少と深淺	接木後の台木の根量と分布状態を観察する。
	78	耐 干 性	干ばつに耐える力	接木後の生育状態から判定する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
弱 中 強	3 5 7		
難 中 易	3 5 7		
不 良 中 良	3 5 7		
難 中 易	3 5 7		
弱 中 強	3 5 7		
弱 中 強	3 5 7		
弱 中 強	3 5 7		

	No.	形 質	定 義	計 測 方 法
台 木 (台木用品種のみ追加して調査する)	79	耐 湿 性	土壤の過湿に耐える力	接木後の生育状態から判定する。
	80	耐 寒 性	低温に耐える力	//
	81	病害抵抗性	台木の病害に対するり病性	台木のり病程度を観察によって判定する。
	82	センチュウ類	センチュウ類の根への寄生程度	根における寄生程度を観察によって判定する。

状 態	階 級	測 定 値 の 区 分	対 照 品 種
弱 中 強	3		
	5		
	7		
弱 中 強	3		
	5		
	7		
無 低 中 高	1		
	3		
	5		
	7		
無 少 中 高	1		
	3		
	5		
	7		

2. 写真撮影法、特性の表現図ならびに測定の方法

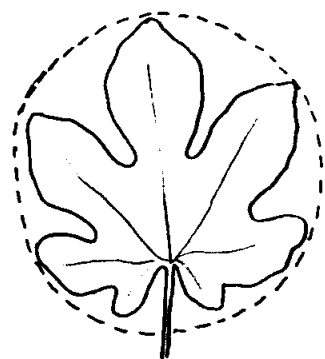
写真はカラー、キャビネ判、スケール（1/10 cm目盛）を写し込む。

1) ⑮ 葉形（写真とコピー）

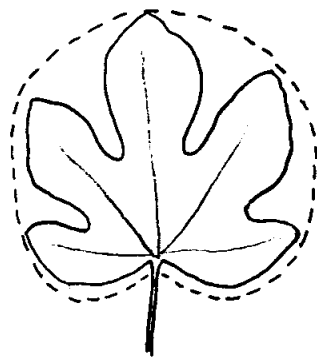
(1) 写真は葉の大きさを測定したなかから2枚を抽出し、1枚を表面、1枚を裏面にして撮影する。

(2) コピーは写真を撮影した葉を、表面を上に向けてコピーする。

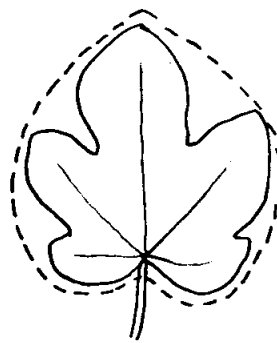
(3) 成葉の全体の形を次図によって分類する。



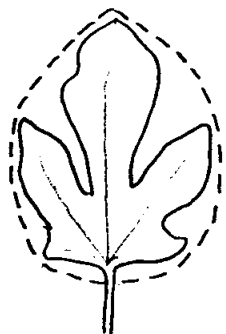
1. 円形



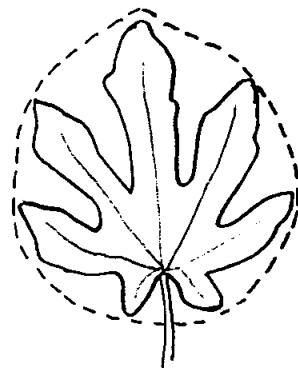
2. 円心形



3. 心形

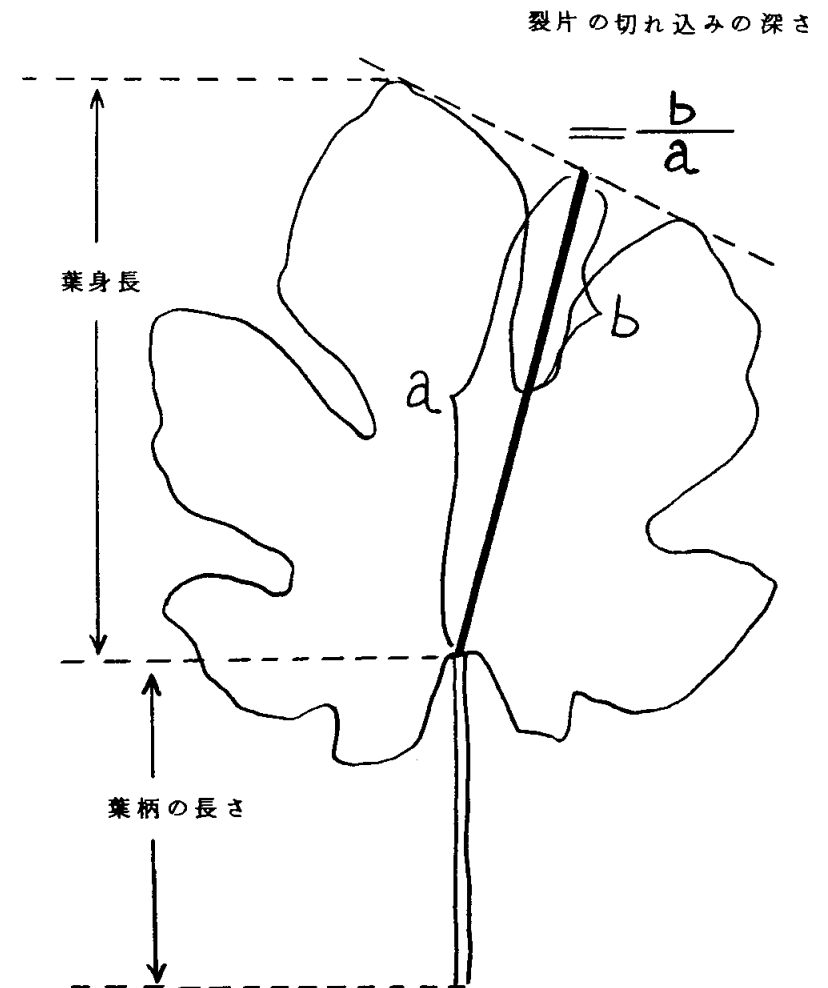


4. 卵形



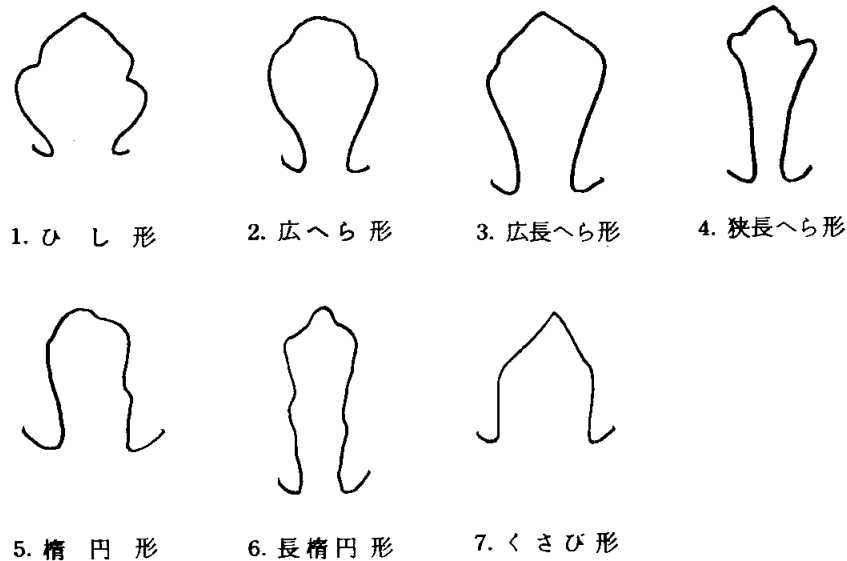
5. 広卵形

2) 21、30、⑮ 裂片の切れ込みの深さ、葉の長さ、葉柄の長さ

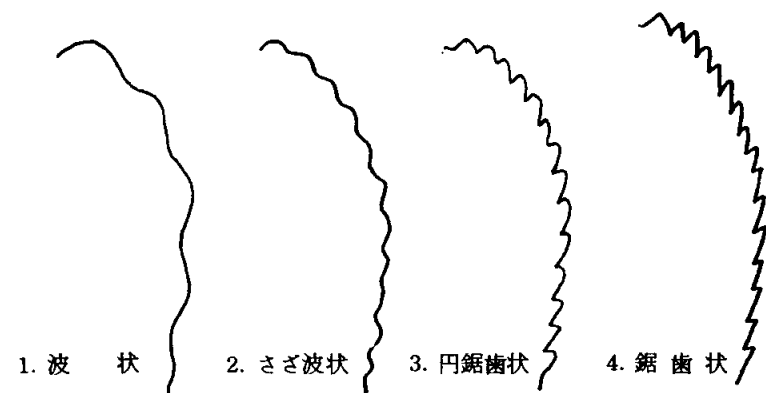


3) 22 裂片の形

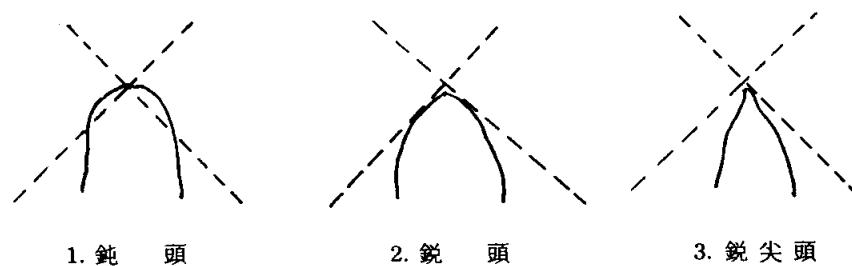
成葉の中央の裂片の形を次図によって分類する。



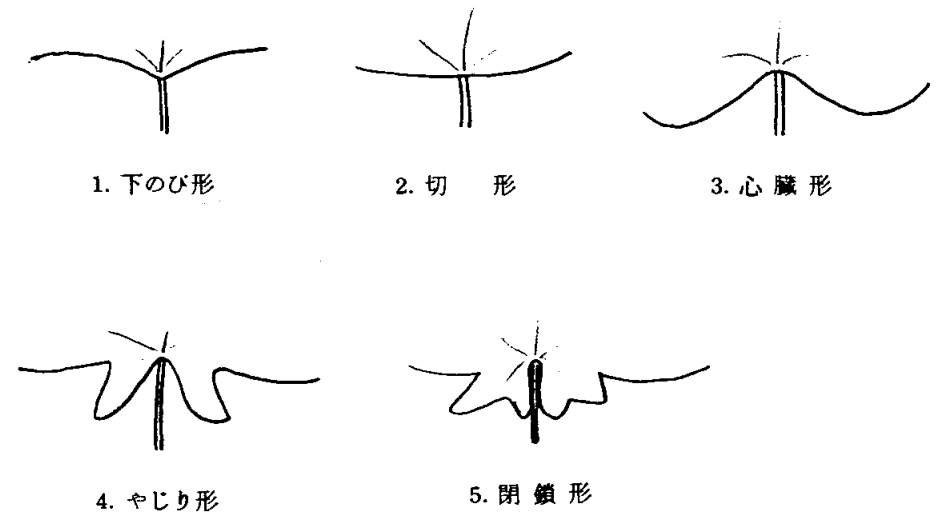
4) 26 上裂片葉縁の形



5) 27 葉の先端の形



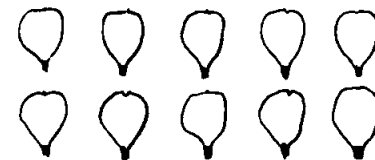
6) 28 葉の基部の形



7) 29 果形の形 (写真と表面図)

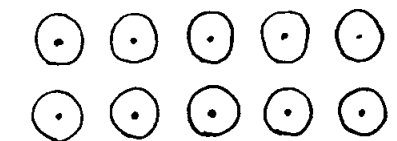
(1) 写真は果実の側面、果頂部、果こう部および縦、横断面を次図のように配置して撮影する。

A 果実の側面



10個の果実を横に並べて撮影する。
上部、やや斜上、やや斜下から各1枚を写す。

B 果実の上面



10個の果実を果頂部の目がみえるようにして撮影する。

C 果実の縦断面



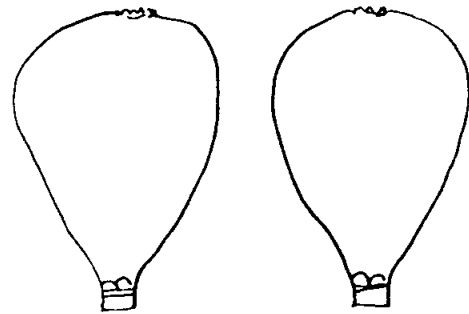
10個の果実を縦断し、果肉、花、目の開口部の状態がみえるようにして撮影する。

D 果実の横断面



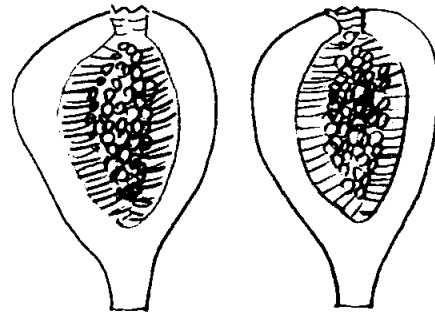
10個の果実の赤道部を横断し、果梗部側から果肉、花の状態がみえるようにして撮影する。

E 果実の側面の接写



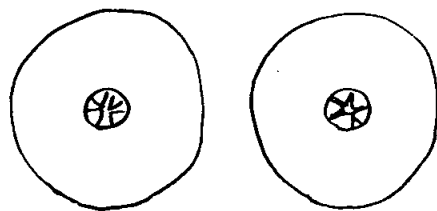
2個の果実の側面を最大限に接写して撮影する。

F 果実の縦断面の接写



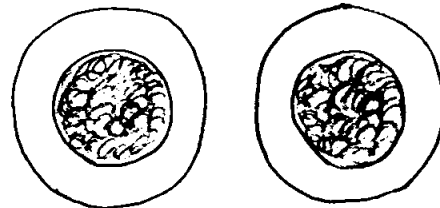
2個の果実の縦断面を最大限に接写して撮影する。

G 果実の果頂部の接写



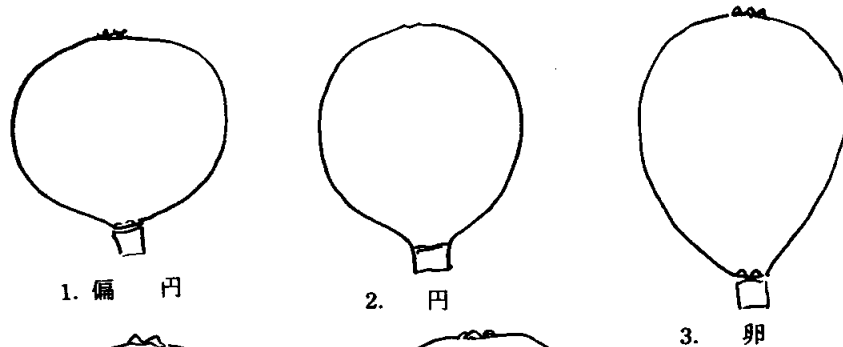
2個の果実の果頂部を最大限に接写して撮影する。

H 果実の横断面の接写



2個の果実の赤道部横断面を果梗部側より最大限に接写して撮影する。

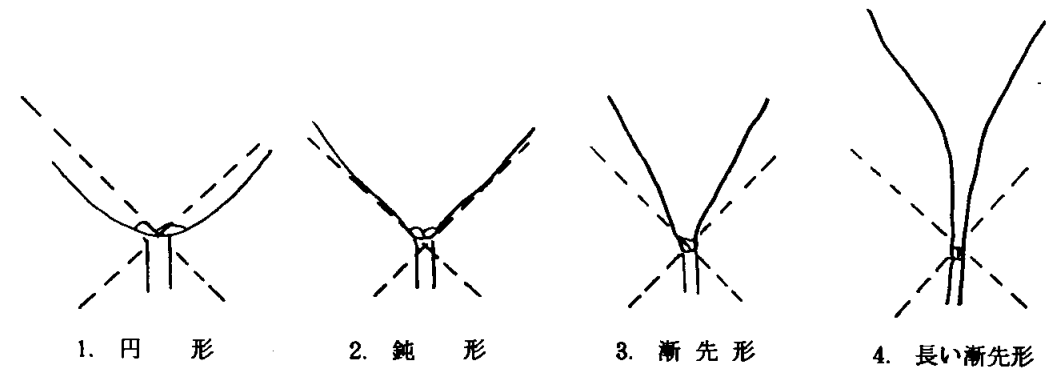
(2) 果実の側面の形を次図によって分類する。



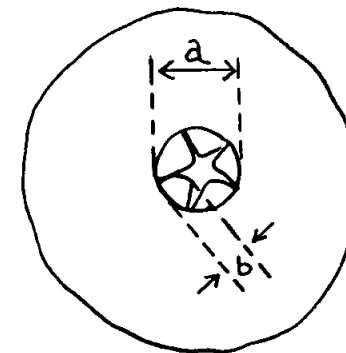
4. 長卵

5. 偏した長卵

8) 40、果実の果梗部の形



9) ⑤②、⑤④ 果頂部の目、りん片の測定法



a 目の大きさ(長さ)

b りん片の大きさ(長さ)